

平成14年度総会、理事会が開催される

平成14年度の通常総会が去る6月10日（月）、東京都港区のメルパルクTOKYOにおいて、54会員中31会員が参加（その他委任状提出22会員）し、開催された。

青山理事が議長に選任された後、議事に入った。平成13年度の事業報告及び収支決算、平成14年度の事業計画及び収支予算、役員を選任等の重要事項が審議され、各議案とも満場一致で可決・承認された。なお総会に先立って理事会が開催され、通常総会に諮る議案について前もって審議された。

【総会議決事項】

- (1) 平成13年度事業報告及び収支決算について
- (2) 平成14年度事業計画及び収支予算について
- (3) 役員を選任について

理事2名、監事1名の退任に伴い、その後任の新役員がそれぞれ選任された。

【通常理事会議決事項】

- (1) 新規会員の入会について

財団法人地球環境戦略研究機関の入会が決定された。

【平成14年度事業計画】

当センターは設立12年を経過して新たな展開が求められていること、環境省の設置、地球環境局への拡充等により、環境省の関わる分野が広範囲化したこと、また地球温暖化防止のための京都議定書の承認と発効の動きも進みつつある。事業活動基本方針としては、このような状況を踏まえ、また昨年10月にまとめられた「OECCの今後の環境協力展開についての報告」に沿って、OECCの機能強化を図るとともに、廃棄物分野の国際協力及びCDMに関する調査検討を新たに推進する。また自主的な研究活動、OECCセミナー等の開催、ホームページのリニューアル、関係行政機関との意見交換の実施、会員に対する情報の提供等を予定している。

海外の環境保全に関する基礎調査、企画調査、廃棄物分野での国際協力研究のあり方及び

CDMに関する調査検討

海外環境保全に関する研究、技術開発

海外の環境保全に関する人材育成

環境保全に関する国際会議の開催

環日本海環境協力会議、チャイナカウンシル等の会合の支援

海外環境保全資料等の収集、情報の提供

海外の環境保全活動団体に村する支援

会員拡充に関する活動

関係行政機関との意見交換会の開催

国の機関等からの委託事業の実施

環境省、国際協力事業団等からの委託事業の受託



総会で挨拶する環境省の岡澤地球環境局長

総会終了後、18時より懇親会が開催され、森仁美理事長の挨拶の後、環境事務次官の中川雅治氏、地球環境審議官の浜中裕徳氏、外務省経済協力局調査計画課長の須永和雄氏、国際協力銀行環境審査室長の畑中邦夫氏の来賓挨拶が行われた。その後、小林料理士の乾杯の発声のもとに懇談に移った。

= 平成13年度第2回通常理事会の開催について =

平成13年度第2回通常理事会が去る3月27日、メルパルクTOKYOにおいて開催され、平成14年度の暫定予算の承認等について審議が行われ、可決・承認された。